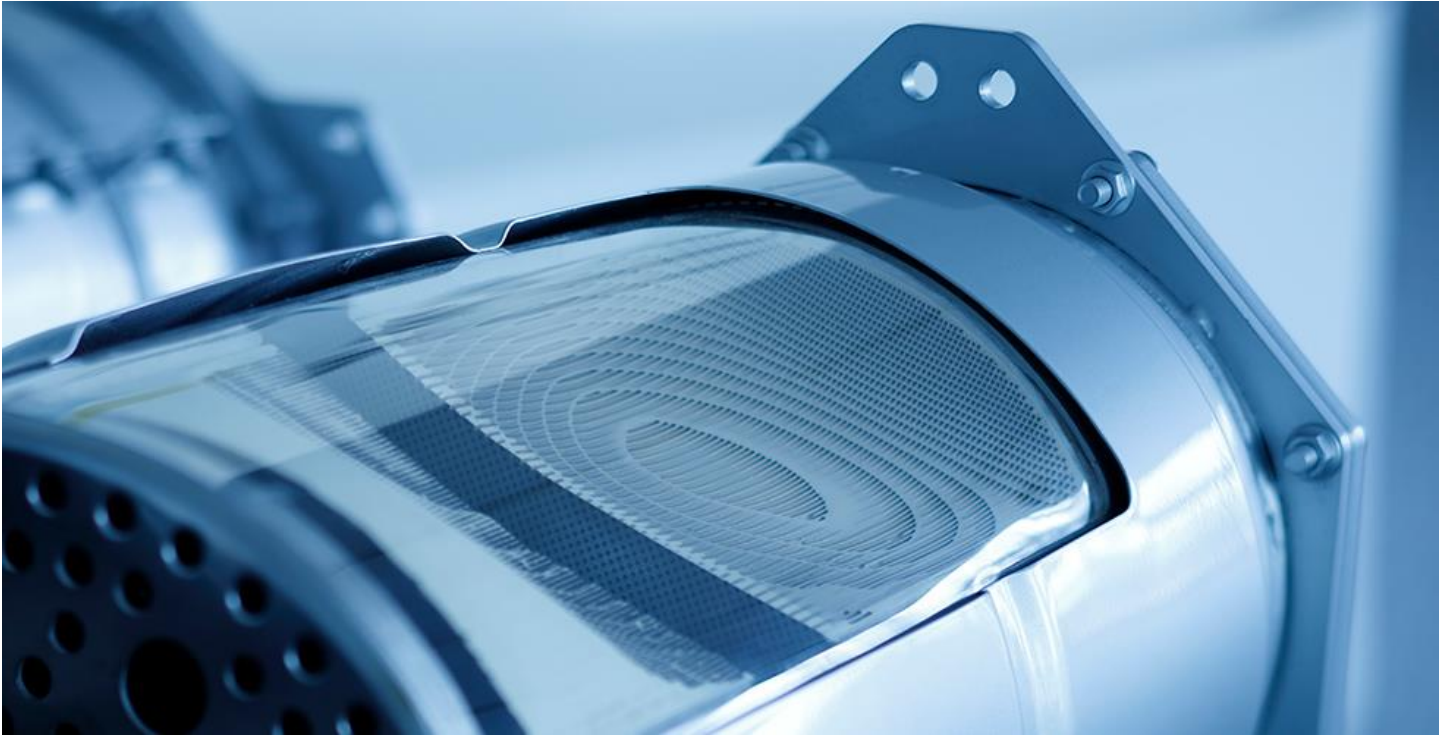


世界初！ディーゼル車用の「NO_x 浄化用触媒」 “尿素水”なしで、最新の排出規制をクリアする HC-SCR システム

自動車排ガス浄化触媒や、電動自動車用電極触媒の開発・生産を行っている、株式会社キャタラー(本社：静岡県掛川市、代表取締役社長：砂川博明、以下 キャタラー) は、尿素タンク・尿素供給装置・尿素水の補充が不要なディーゼル車用の排ガス浄化触媒「HC-SCR システム」の量産を開始した。



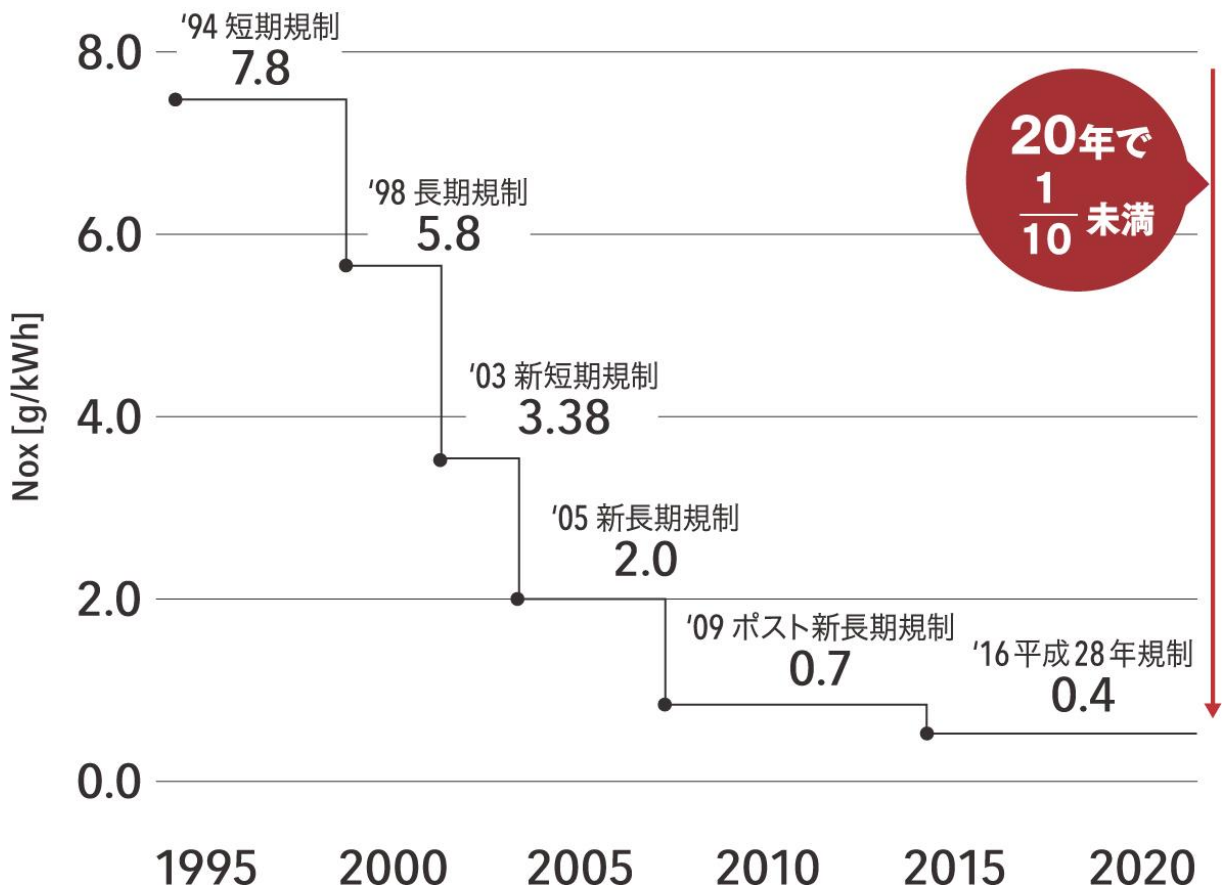
■HC-SCR システムの開発背景

- ① 日本および欧米先進国では、大気質改善に向け、自動車排出ガスに含まれる「NO_x」の更なる低減が求められており、特に、ディーゼル車からの排出ガス低減に向けてディーゼルエンジンの改善と共に、高性能な排出ガス後処理装置の研究開発が進められている。
- ② 「NO_x」を処理するためには、尿素の様な還元剤を使用している後処理システムが主流。一方で、還元剤を使用せず、利便性が高いコンパクトな排出ガス低減システムもユーザーから求められている。

**尿素を還元剤として使用せず少量の燃料（軽油）で高効率に「NO_x」を還元する、
画期的な「HC-SCR 触媒」を、世界に先駆けて開発、実用化しました。**

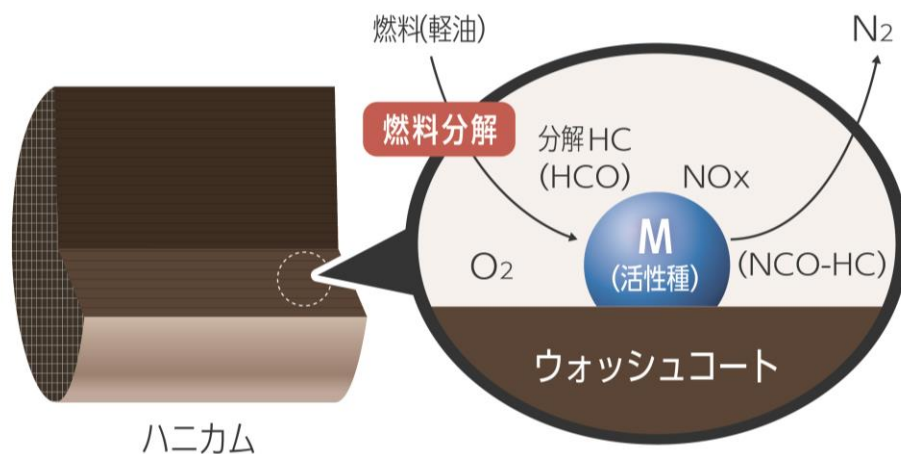
※2017 年 4 月にモデルチェンジをした、日野自動車殿「Dutro」に採用されています。

● 日本におけるディーゼル重量車のNOx規制動向

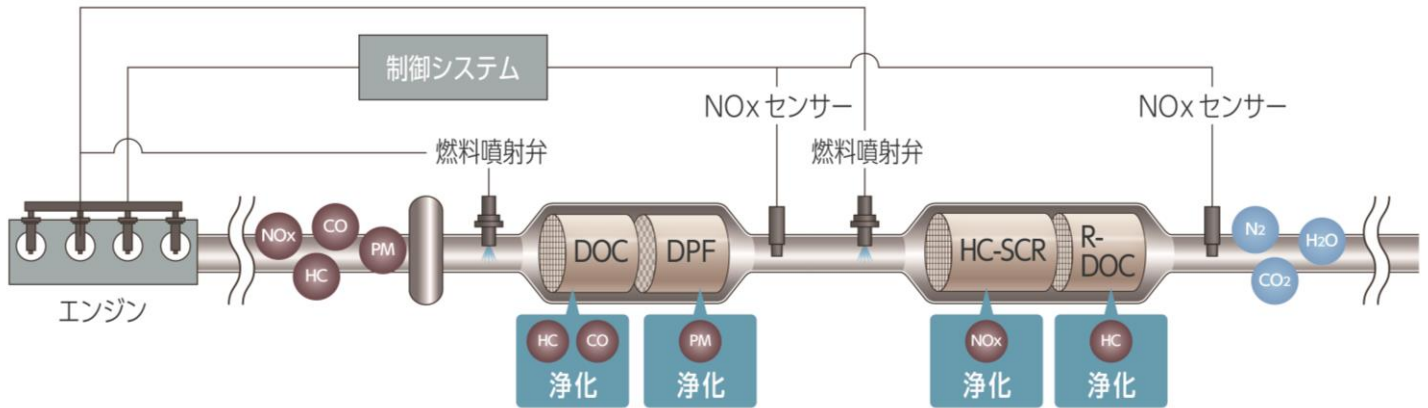


■ HC-SCR 触媒 (Hydrocarbon-Selective Catalytic Reduction system) の概要

活性点Mを独自に変化させることにより、幅広い温度域での「NOx」と「炭化水素」の選択性と反応性の向上により、少量の燃料（軽油）で高効率な NOx 浄化性能を達成しました。

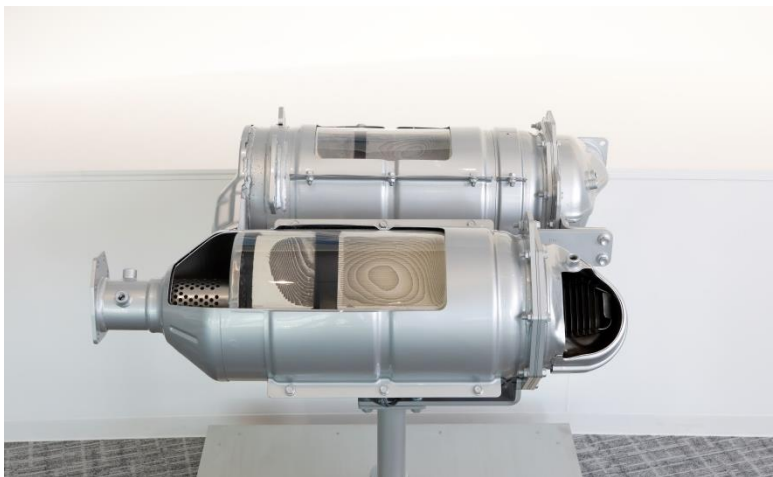


■NOx 浄化用触媒システム「HC-SCR」

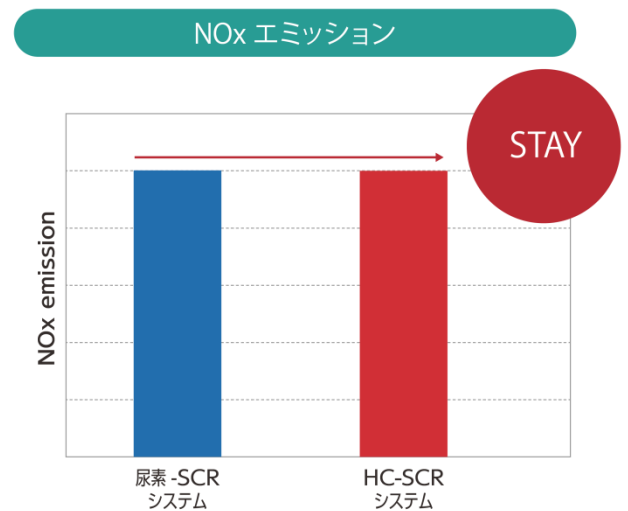


**活性点Mを効率よく作動させるために、
独自の製造技術により燃料（軽油）との反応効率を向上させました。**

それにより尿素 SCR 触媒と同等の NOx エミッションを達成し、先進国の中で非常に厳しい国内の最新規制（平成 28 年規制）に適應させることができます。



HC-SCR 触媒システムイメージ



■HC-SCR 触媒システムのまとめ

- ▼効率に「NOx」と「PM」を低減できる。
最新の排出規制（平成 28 年規制）をクリアする事で大気環境の改善に貢献できる。
- ▼「NOx」を還元するための新たな還元剤（尿素水等）を使用しないため、ユーザーの利便性が高い。
- ▼「NOx」を還元するための還元剤タンクが不要なため、『架装性』や『搭載性』に優れており、幅広いユーザーの要望に応える事が可能になる。

■会社概要

- (会 社 名) 株式会社カタラー
 - (設 立) 1967年5月8日
 - (本社所在地) 静岡県掛川市千浜 7800
 - (企 業 HP) <https://www.cataler.co.jp/>
-

■このリリースに関するお問い合わせ先

- 株式会社カタラー 広報：西倉 圭一（にしくらけいいち）
- (電 話) 0537-72-5879（直通） / 0537-72-3131（代表）
 - (e - mail) k-nishikura@cataler.co.jp
-